

歴史は未来の羅針盤

温故知新



『近江日野の歴史』第一巻「自然・古代編」、第二巻「中世編」、第五巻「文化財編」、第六巻「民俗編」は、ただ今、教育委員会生涯学習課（役場二階）や各地区公民館などで好評発売中（税込み4000円）です。ぜひお買い求めください。

『近江日野の歴史』の編さんが始

まって、8年がたとうとしています。これまで、通史編の「自然・古代編」「中世編」と、分野編の「文化財編」「民俗編」の計4巻を刊行しました。『近江日野の歴史』は全9巻ですが、最終巻の「年表・総索引」を除くと、通史編・分野編各4巻となり、それぞれ半分を刊行できたこととなります。

日野を特徴づける分野編

通史編は、日野の歴史を古代、中世、近世、近現代の四時期に分けて、時代ごとにまとめます。これに対して、「文化財編」「民俗編」「日野商人編」「史料編」からなる分野編は、日野に直接関わる史料や特有の文化を対象とします。

『近江日野の歴史』を最も特徴づける巻が「日野商人編」で、近江商人の一翼を担う日野商人を可能な限り網羅し、平成23年に刊行する予定です。

今秋刊行となる「史料編」では、

日野に伝わる古文書を中心に特徴的な史料を多数取り上げます。ひとつの史料につき、それぞれ写真や翻刻文を掲載し、歴史的背景の紹介や史料の解説などをします。

既刊の「文化財編」は、書画、仏像、石造品、日野鉄砲、日野椀、曳山、棧敷窓、町並み、天然記念物、街道、道標など、指定文化財を中心に日野を代表する史料を網羅しました。その種類と量は豊富で、滋賀県下でも



屈指です。

最も親しみやすい民俗編

「民俗編」も既刊で、現在まで引き継がれてきた伝統的な風習、年中行事、文化などをできるだけ克明に記録しました。なかには、最近の数十年の間に廃れてしまったものも含まれています。

「民俗編」は、生活に根ざした身近な民俗文化を扱っていますので、他の巻よりも、専門用語も少なく、読みやすくなっています。また、600点を超える多数の写真を掲載し、視覚的に理解できるよう工夫しています。そのため、読み物として気楽に読んでいただける内容となっております。写真には、人物も多く写っていますので、写真を見るだけでも楽しめます。また、ご年配の方々が子どもであった頃の様子を取り上げることが多く、古きよき時代の思い出として懐かしく読んでいただけるのではないのでしょうか。

なお、文章を読むのが苦手という方は、付録CD-ROMをぜひご覧ください。約1千枚のカラー写真と簡単な解説文で、各地で行われている約100件の祭りや民俗行事などを紹介しています。日野を代表する日野祭や芋競べ祭はもちろん、各地の集落や神社などで素朴に行われている祭りや民俗行事も多数収録しました。その多くは、他集落の方々にとっては見たことのないものであったり、昔からのしきたりにより女性には見ることができなかつたりするものもあります。このCD-ROMを見るには、パソコンが必要ですが、操作はとても簡単です。パソコンに不慣れな方は、ご家族の方などに操作してもらいながら、一緒に見るといいのではないでしょうか。このように「民俗編」は、皆さんに最も親しんでもらえる巻だといえます。

『近江日野の歴史』は、図書館や各公民館に蔵本されています。また、各区へも配布されていますので、集会所などに保管されているのではないのでしょうか。ぜひ一度手にとってご覧ください。新たな発見がきっとあることでしょう。